

2024年2月15日（木）10：15～10：30、鷺見八重子委員長は、矢口有乃副委員長、布柴靖枝副委員長、紙谷雅子 CSW 担当幹事、増子富美庶務幹事とともに、上川陽子外務大臣を表敬訪問しました。

〔概要〕

1. はじめに、上川陽子大臣より、1957年から国連総会第3委員会へ民間女性を派遣している当委員会の貢献に対し、謝意を表明いただきました。
2. 上川大臣は、殊に国連総会の政府代表団へ民間女性を含めていることは日本の外交における民間協力の象徴として意義あることと、述べられました。
3. 続いて、上川大臣と鷺見委員長および当委員会からの4名の面談者との間で、日本の外交における女性分野の取組に関して、意見交換が行われました。主な話題は次の通りでした。
 - ・ 3月11日からニューヨークの国連本部で開催のCSW68での3NGOs・日本政府代表部共催サイドイベント“Women’s Multidimensional Poverty Challenges and Grassroots Responses: Insights from Japan, Sri Lanka, and Guatemala”等の取組
 - ・ 女性・平和・安全保障（WPS）の推進
 - ・ WPSをはじめとする女性分野における日本の取組に対する期待と、政府とNGOとの連携強化の必要性

当委員会は、今回の訪問と面談の貴重な体験を、今後の活動に活かして参る所存です。

写真出典：外務省ホームページ

https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/pressit_000001_00330.html